

中心市街地活性化基本計画の状況

令和2年10月
内閣府地方創生推進事務局

目 次

1. 中心市街地活性化基本計画の認定状況 …… P 2
2. 令和元年度定期フォローアップ報告の概要 …… P 4
3. 令和元年度最終フォローアップ報告の概要 …… P 6

現時点で認定を受けている中心市街地活性化基本計画：75市2町77計画（令和2年7月現在）

北海道	帯広市③
青森県	弘前市②、八戸市③、黒石市、十和田市②
岩手県	遠野市②
宮城県	石巻市③
秋田県	秋田市②
山形県	山形市②、上山市②、長井市、鶴岡市②、酒田市②
福島県	福島市②、須賀川市②、いわき市
新潟県	長岡市③
茨城県	水戸市、土浦市②、鹿嶋市
栃木県	—
群馬県	高崎市③
埼玉県	寄居町
千葉県	木更津市
東京都	八王子市、青梅市、府中市
神奈川県	—
山梨県	—
富山県	富山市③、高岡市③
石川県	金沢市③
福井県	越前市②
長野県	飯田市③
岐阜県	岐阜市③、大垣市②、中津川市②
静岡県	静岡市②、藤枝市③、島田市
愛知県	豊田市③、田原市
三重県	伊勢市

滋賀県	草津市②、守山市②、東近江市
京都府	福知山市②
大阪府	高槻市②、堺市、茨木市
兵庫県	伊丹市②、川西市③、明石市②、姫路市③、丹波市②
奈良県	—
和歌山県	—
鳥取県	鳥取市③、倉吉市②、米子市②
島根県	江津市、雲南市、松江市③
岡山県	倉敷市②
広島県	三原市
山口県	宇部市、周南市②
香川県	高松市③
徳島県	—
愛媛県	松山市②
高知県	高知市②
福岡県	大牟田市
佐賀県	唐津市②、基山町
長崎県	長崎市②
熊本県	熊本市③
大分県	大分市③、佐伯市②、竹田市
宮崎県	小林市
鹿児島県	鹿児島市③、奄美市
沖縄県	沖縄市②

②は2期計画の認定を受けた市、③は3期計画の認定を受けた市

認定中心市街地活性化基本計画作成自治体(77団体) 人口規模別一覧 (R2.7現在)

○立地適正化計画作成自治体は、47団体。同計画作成予定自治体は、14団体。(R2.7.31現在)

○連携中枢都市圏を形成している連携中枢都市は、17団体。(R2.4.1現在)

○定住自立圏を形成している中心市は、19団体。(連携中枢都市を除く。R2.4.1現在)

黒字:第1期計画 赤字:第2期計画 青字:第3期計画

自治体人口 (認定時点)	立地適正化計画作成済み (R2.7.31現在)	立地適正化計画作成予定 (R2.7.31現在)	立地適正化計画取組なし (R2.7.31現在)
30万人以上	秋田市、いわき市、富山市、 金沢市、岐阜市、静岡市、 豊田市、高槻市、姫路市、 高松市、松山市、高知市、 長崎市、熊本市、大分市、 鹿児島市、八王子市	高崎市、倉敷市	堺市
10万人以上	弘前市、八戸市、鶴岡市、 酒田市、福島市、長岡市、 土浦市、水戸市、高岡市、 大垣市、藤枝市、伊勢市、 草津市、東近江市、茨木市、 松江市、宇部市、周南市、 大牟田市	山形市、木更津市、府中市、 鳥取市、米子市	帯広市、石巻市、青梅市、 伊丹市、川西市、明石市、 唐津市、沖縄市
5万人以上	十和田市、須賀川市、越前市、 守山市、三原市、田原市、 飯田市	中津川市、島田市	鹿嶋市、福知山市、丹波市、 佐伯市
5万人未満	黒石市、長井市、寄居町、 江津市	上山市、基山町、竹田市、 奄美市、雲南市	遠野市、倉吉市、小林市

中心市街地活性化基本計画 令和元年度定期フォローアップ報告の概要

- 国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画では、各自治体が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標(目標指標)を設定している。
- 各目標指標は、計画期間中、原則毎年取組の進捗状況及び目標達成の見通し等を自己評価(定期フォローアップ)することとしている。
- 定期フォローアップによって明らかとなった取組の進捗状況、目標達成の見通し、基準値からの改善状況等を参考に、必要と認められる場合には、各自治体は、中心市街地活性化協議会と連携して、速やかに基本計画の見直しを行う。

<取組の進捗状況と目標達成状況に関する集計結果>

対象計画: 65市町 65計画 223指標* 【参考: 平成30年度】76市町 76計画 264指標

○ 定期フォローアップ対象の全233指標について下記の分類により集計を行った。

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ① 取組(事業等)の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ② 取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③ 取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④ 取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

	目標達成可能と見込まれる (165 指標)	目標達成可能と見込まれない (58 指標)
取組進捗順調 (172 指標)	① <u>133指標 (60%)</u> [平成30年度: 160指標 (61%)]	② <u>39指標 (17%)</u> [平成30年度: 37指標 (14%)]
取組進捗 順調でない (51 指標)	③ <u>32指標 (14%)</u> [平成30年度: 47指標 (18%)]	④ <u>19指標 (9%)</u> [平成30年度: 20指標 (8%)]

目標達成見直しを変更した主な理由

○ 目標達成見直しについて、今回(令和元年度)のフォローアップにおいて、前回(平成30年度)から変更された目標指標は32指標あり、主な理由は以下のとおり。

(1) 目標達成見直しが改善したケース(分類②④から①③へ変更したもの)

○ 令和元年度定期フォローアップ対象指標のうち、目標達成見直しが改善した指標は6指標。

○ 目標指標分類別では、「にぎわいの創出」が5指標、「経済活力の向上」が1指標。

○ 目標達成見直しが改善した主な理由は以下のとおり。

(ア) 計画期間の延長により遅延していたハード事業が完了し、その効果発現が今後見込まれる。

(イ) 計画変更により新規事業を追加したことでその効果発現が見込まれる。

(ウ) 遊休不動産に地元商品を扱うコンビニエンスストアが入居したことによりさらなる賑わいが見込める。

(2) 目標達成見直しが悪化したケース(分類①③から②④へ変更したもの)

○ 令和元年度定期フォローアップ対象指標のうち、目標達成見直しが悪化した指標は26指標。

○ 目標指標分類別では、「にぎわいの創出」が15指標、「街なか居住の推進」が3指標、「経済活力の向上」が7指標、「公共交通の利便の推進」が1指標。

○ 目標達成見直しが悪化した主な理由は以下のとおり。

(ア) 事業の遅延または未着手により、計画期間内の効果の発現が困難と見込まれる

・具体的には、主要事業に位置付けているハード事業について、土地の所有者との調整が整わないことや、工事の遅延がその理由として挙げられている。

(イ) 事業は概ね予定通りに進捗しているものの、外的な要因により効果が相殺されると見込まれる。

・具体的には、「にぎわいの創出」の分野では、再開発事業や商業施設の大型リニューアル等の主要なハード事業が完了し、取り組みに一定の落ち着きが出たところで、近隣自治体で大型商業施設がオープンするなど話題性が市外にあったことにより中心市街地への来街者が減少したことが挙げられている。

・「経済活力の向上」の分野では、ハード事業の完了に伴う大型イベントの実施により市外及び国外からの来客を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う令和2年3月における宿泊施設のキャンセルにより、宿泊者数が、前年同月比で約5割減となったことが挙げられている。

・「公共交通の利便の増進」の分野では、新型コロナウイルス感染症の拡大にともなう感染症防止のための外出自粛による学校の休校や旅行の取り止めなどにより、新幹線及び在来線の乗降者数が令和2年3月頃から大きく減少したことが挙げられている。

中心市街地活性化基本計画 令和元年度最終フォローアップ報告の概要

- 国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画では、各自治体が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標(目標指標)を設定している。
- 当該基本計画については、各自治体自ら計画期間満了後に、取組(事業等)が予定どおり進捗したのか、目標は達成されたのか等を自己評価(最終フォローアップ)として報告して頂いている。
- 令和元年度の最終フォローアップの対象となる21市の21計画では、合計74の目標指標が設定されており、各種事業等をもって目標達成に向けた取組が行われてきたところであり、その評価結果をとりまとめる。

<取組の進捗状況と目標達成状況に関する集計結果>

対象計画: 21市 21計画 74指標

【参考:平成30年度】11市11計画39指標

	関連事業が概ね予定どおりに完了した場合		関連事業が予定どおりに完了しなかった場合		合計	
計画当初より改善	39指標 (平成30年度:22指標)	69%	6指標 (平成30年度:3指標)	36%	45指標 (平成30年度:25指標)	61%
目標達成	(21指標) (平成30年度:15指標)	(37%)	(2指標) (平成30年度:1指標)	(12%)	(23指標) (平成30年度:16指標)	(31%)
計画当初より悪化	18指標 (平成30年度:9指標)	31%	11指標 (平成30年度:5指標)	64%	29指標 (平成30年度:14指標)	39%
合計	57指標 (平成30年度:31指標)	100%	17指標 (平成30年度:8指標)	100%	74指標 (平成30年度:39指標)	100%

目標が達成できなかった主な要因

○ 目標が達成できなかった51指標について、その主な要因としては、

- ①事業の遅延または未着手により、計画期間内に効果が発現しなかったこと。
- ②事業は概ね予定通りに進捗したものの、当初想定していた効果が得られなかったことや、外的な要因により効果が相殺されたことが挙げられる。

○ 上記①の具体例については、以下のとおりである。

・地権者や民間事業者との合意形成が得られなかった。・事業内容の見直しや調整に時間を要した。・自然災害により進捗が遅れた。

○ 上記②の具体例については、以下のとおりである。

「にぎわいの創出」の分野

・駅周辺整備のハード事業は概ね完了し、一定の成果は出ているものの、魅力ある店舗やイベントの情報発信の不足により、訪れた人が目的の場所に行くだけで、その後の回遊にはつながらなかった。

・魅力的で賑わいのある空間が形成されたが、地域内での大型百貨店の閉店に加え、別地点への新規店舗のオープンにより歩行者の導線が変化した。

・新型コロナウイルスの影響で、イベントの中止や施設の休館が相次ぎ、まちなかの通行量が減少した。

今後の対策としては、街全体の集客力を高めるような拠点施設の整備やイベントの実施、効果的な情報発信を行い、歩いて楽しめる空間を創出するとともに、新しい日常に対応した事業の実施や体制の構築に取り組むこととしている。

「街なか居住の推進」の分野

・マンション建設等のハード事業が完了し、居住者の増加に寄与したものの、中心市街地の高齢化に伴う出生数の減少による自然減をカバーする以上の効果が現れなかった。

今後の対策としては、ファミリー世帯を中心に幅広い世代のまちなか居住のニーズに対応するため、住みよいまちづくりに取り組んでいくとしている。

「経済活力の向上」の分野

・営業店舗数の増加に向けたテナント施設整備は完了したものの、施設単体としての魅力不足により、観光拠点から離れた位置にある施設までの新たな歩行導線を確立するまでには至らず、利用者の伸び悩みにより店舗数が維持できなかった。

・空き店舗活用促進事業を実施したことにより、空き店舗率も一定の改善は見られたが、経営者の高齢化に伴う廃業のペースが新規開業よりも上回った。

今後の対策としては、能動的な経営支援を行い、一次的な空き店舗の解消ではなく、計画的、継続的なまちの活性化を図っていくこととしている。

計画変更等により状況が改善した主な例

○ 計画変更により状況が改善したとされた具体例については、以下のとおりである。

・計画期間中の事業追加によって、重要商業地点において発生した大型商業店舗空きビルを取得し、来街観光客及び市民に対しての中心市街地商店街コンシェルジュ機能を核とした多機能複合型ビルへと再生することで、エリアの賑わいが創出された。

・計画当初は老朽化した駐車場の再整備のみであった事業を、共同住宅、店舗・業務施設、駐車場及び外周道路を一体的に整備する市街地再開発事業へ計画変更することにより、居住環境の改善につながり、定住人口の増加に寄与した。

・計画期間中の事業追加によって、地域に点在する遊休資源を活用し、再稼働させる取り組みを住民とまちづくり会社が一体となって考えるワークショップが行われ、多くの魅力あるアイデアが発案された。その後、そのアイデアが実現するまで、まちづくり会社が開業希望者に対し、伴走してサポートを行うことで、飲食店や住宅が整備され、空き家の活用に寄与した。

最終フォローアップにおける評価指標の目標達成状況

令和2年10月現在、累計148市2町248計画が中心市街地活性化基本計画の認定を受け、うち125市171計画について、計画期間終了後、最終フォローアップ報告書を作成(次の計画期間に入っている自治体を含む。)

最終フォローアップにおける、各計画の評価指標(524指標)の目標達成状況は以下のとおり。

	計画当初より改善	
		うち、目標達成
にぎわいの創出：281指標	169指標 (60.1%)	97指標 (34.5%)
街なか居住の推進：107指標	45指標 (42.1%)	23指標 (21.5%)
経済活力の向上：94指標	50指標 (53.2%)	31指標 (33.0%)
公共交通の利便の増進：18指標	12指標 (66.7%)	8指標 (44.4%)
その他：24指標	14指標 (58.3%)	11指標 (45.8%)
合計：524指標	290指標 (55.3%)	170指標 (32.4%)

中心市街地活性化基本計画における目標達成等の状況の推移

(指標数、%)

